



発表項目 (行事名)	北海道ヒグマ緊急時等専門人材派遣事業について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急又は解決が困難なヒグマ対応事案に対し、道が、事前に登録したヒグマの専門家を現地に派遣する事業を行うこととしましたので、お知らせします。</li> <li>○ 専門家の派遣について、市町村からの相談や要請を受け付けます。</li> </ul> <p>〈概要〉</p> <p>1 事業の概要 ヒグマによる人の生活圏への頻繁な出没や農業被害の継続的な発生など、緊急又は解決が困難で、専門的な対応の必要性が高い事案に対し、事前に登録したヒグマに係る捕獲・防除対策などの専門家を市町村の要請に応じて現地に派遣し、専門的見地から調査、捕獲、追い払いなどのアドバイス等を行い、事態沈静化に向け支援を実施。</p> <p>※別紙「北海道ヒグマ緊急時等専門人材派遣事業の概要」を参照。</p> <p>2 ヒグマ専門人材 捕獲、防除、探索、現場検証、生態などの各分野に知見、経験を有する専門家を登録。</p> <p>※別紙「ヒグマ専門人材バンク 登録一覧」を参照。</p> <p>※本事業については、次のホームページで公開しています。 (<a href="https://cms.pref.hokkaido.jp/.s1/preview/ks/skn/125292.html">https://cms.pref.hokkaido.jp/.s1/preview/ks/skn/125292.html</a>)</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	ヒグマによる事案対応にあたり、専門家を派遣しますので、積極的な報道をよろしくお願ひします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室(担当者:主幹 武田) TEL(内線) 24-382 ダイヤルイン: 011-204-5988		

# 北海道ヒグマ緊急時等専門人材派遣事業の概要

## ■ 目的

ヒグマによる人の生活圏への頻繁な出没や農業被害の継続的な発生など、緊急又は解決が困難で、専門的な対応の必要性が高い事案に対し、事前に登録したヒグマに係る捕獲・防除対策などの専門家を現地に派遣し、専門的見地から調査、捕獲、追い払いなどのアドバイス等を行い、事態沈静化に向け支援を実施。

## ■ ヒグマ専門人材登録バンク

道のヒグマ対策に対する理解・協力への意向があり、次のいずれかの要件を満たすヒグマ対応の専門法人又は個人をヒグマ専門人材として登録

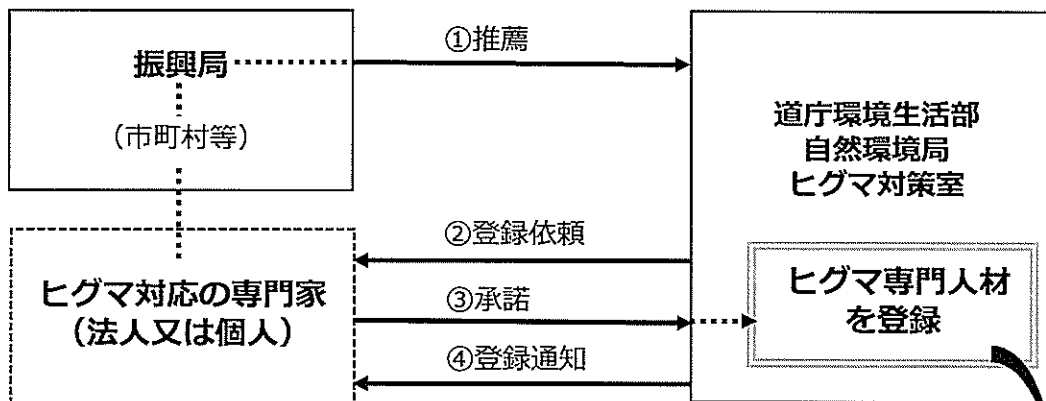
- ・ ヒグマの生態、行動等に関する専門的知識を有すること
- ・ ヒグマによる被害防止対策又は捕獲対策に関する相当の知識及び経験を有すること

## ■ ヒグマ専門人材派遣

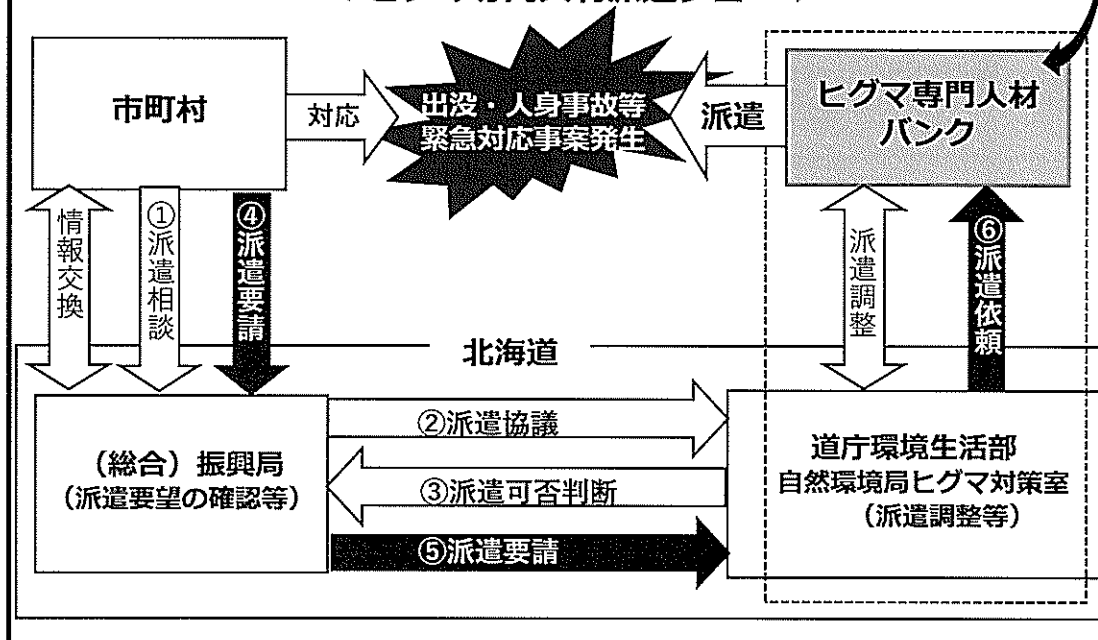
- ・ 振興局は、普段からヒグマの出没動向を注視して情報収集に努め、必要に応じ、市町村に対し積極的にヒアリングするなどして専門人材派遣の要望確認を行う。
- ・ 振興局は、市町村から専門人材派遣の相談があった場合は、道庁ヒグマ対策室と協議を行い、必要に応じてヒグマ専門人材を派遣する。

～ヒグマのエキスパートを派遣！～  
 専門家を派遣し問題解決に向けて支援

## < ヒグマ専門人材登録バンク >



## < ヒグマ専門人材派遣フロー >



※ヒグマ専門人材登録法人等は、北海道ヒグマ対策室のホームページを参照

## ヒグマ専門人材バンク 登録一覧

ヒグマ専門人材バンク 法人名・氏名		専門分野														対応可能 地域				
		捕獲				防除			探索			現場検証			生態		備考 ※左記「その他」欄の説明			
		銃 類	箱 わな	く くりわな	そ の 他	電 気 柵 設置	刈 り 払い	追 い 払い	そ の 他	ド ロ ー ン	ト レ イ ル カ メ ラ	ペ ア ド グ グ	そ の 他	個 体 識 別	現 場 検 査			そ の 他	学 術 的 助 言	そ の 他
1	岩井 基樹					○	○	○				○	○	○	○			○	サーマルスコープの活用。	道東・道北
2	NPO法人 EnVision環境保全事務所											○						○	被害防除に関する総合的な指導助言。	道内全域
3	NPO法人 南知床・ヒグマ情報センター	○	○	○									○	○	○				痕跡からの移動ルート等の把握。	道内全域
4	株式会社サンクレエ				○									○					ドローンなどを使用した追い払いや探索の企画・提案。 ICT、IoT機器を使用した探索企画。	道央・道南
5	佐藤 喜和					○	○											○		道内全域
6	サージミヤワキ株式会社 札幌営業所					○												○	生態を踏まえた効率的な防除対策の助言（セミナー等）。	道内全域
7	下鶴 倫人				○							○						○	箱わな捕獲個体への麻酔処置。 生態等に関する解説、糞・毛・唾液などの生体試料からのDNA抽出や解析（個体識別・血縁解析）。	道内全域
8	坪田 敏男				○									○				○	生体捕獲時の麻酔・ハンドリング。 踏査によるトラッキング。	道内全域
9	ファームエイジ株式会社					○						○						○		道内全域
10	山中 正実	○	○		○	○	○	○	○			○		○	○			○	ドラム缶式柵による捕獲、ドラム缶式柵の設計製作。侵入経路となる緑地帯や河川等の適正配置と管理。ヘアトラップとトレイルカメラを組み合わせた発見手法。痕跡調査、GPS及び発信器による行動追跡、冬眠穴調査。	道内全域
11	山本 牧								○					○				○	生態・行動調査に基づく個体識別、個体数推定と防除対策の検討、電気柵、刈り払いや誘因物除去、食害防止の総合対策。痕跡調査、トレイルカメラ設置、ヘアドッグの導入検討。普及教育。	道北（主に）